

今程、3人による意見発表がありました。それぞれ、1学期をしっかりと振り返り、次の目標を明らかにしているところが素晴らしかったです。この3名を含め、井波中学生一人一人が新しい生活様式を心がけ、とても良く頑張ってきた学期だったと思います。学習の面、学級の係や当番活動、生徒会活動、そして部活動などにおいて、順調とは言えなかったり、納得していない部分があったりしているかも知れませんが、自分や周りと同じ向き合いながら生活を送り続け、今こうして終業式に臨んでいること。私は、皆さんの社会性が確実に増した1学期だったと捉えています。

さて、明日から39日間の夏休みに入ります。この日数は、南砺市内の中学校では最も長く、時間に直すと実に936時間となります。なぜ最も長い日数にしたのか。ここにはモラルを磨くことに、できる限り時間を多く費やして欲しいとする願いがあります。モラルとは、日本語で「道徳」にあたり、物事の善し悪しを判断する基準、または社会生活で守るべき基準という意味のことです。

最近「ドローン」という無人航空機が、使用されるニュースをよく目にします。10年後の2030年には、ドローンによる配送が当たり前になると予測する専門家もいるくらい、テクノロジーは飛躍的に発展してきています。しかし、こうした機械や人工知能等は人の心や考えに左右されるもので、周囲の人や環境を幸せにするのか、不幸せにするのかは、扱う人次第です。私は、その使用する判断を誤らずに正しく下すため「モラルつまり徳を積み上げ、誠実に生きて行くこと」が重要だと考えます。

この夏休みは、テレビ視聴やゲーム、スマホなどもゆっくりと楽しんで欲しいです。でも、学校生活があるとじっくりできなかった家庭や地域での体験や趣味に多くの時間をかけ、自らの道徳性を高めてもらいたいのです。例えば、次のようなことです。

- ・自主トレで、より高い目標を設定し、困難や失敗を乗り越えながらも継続する。
- ・掃除や料理など、家事を分担する家事シェアを行いながら、家族を尊敬する。
- ・総合や自由研究にタブレットを活用して探究し、新しいものを創造する。
- ・周りの助言や忠告に謙虚に耳を傾けつつ、他人に学び、自分の力に変える。
- ・美術館で優れた芸術作品に出会ったり、散歩や散策で自然の美しさに触れたりして、自分の心が感動を味わう。
- ・お辞儀の角度や語先後礼など、礼儀正しく、時と場に応じた適切な言動をとる。

新型コロナウイルスの拡大により、人の心と心がつながりにくくなった日常であるからこそ、わがままを言わず、相手の立場に寄り添いながらの正しい判断ができることが求められています。この要が「心の豊かさ」であり「道徳性の深さ」だと私は信じています。

結びに、夏休みといえども、学習をきちんと継続することは当たり前のところです。1年生は1学期の復習を、高校に成績がつながっていく2年生は、1学期分に加えて1年生の復習にも意欲的に取り組んでください。そして、3年生は高校進学に向け、勝負の夏です。学習の質と量を十分工夫・確保し、学力アップに全集中してください。

それでは、皆さんが命と健康を守りつつ、充実した39日間となることを期待するとともに、8月30日の始業式では、人間力が一段と増した姿となって会えることを楽しみにして、私の言葉とします。